

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2015年6月号 通巻78号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2015

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

タヌキの耳は丸くない タヌキ耳をよーく観察してみましょう！



夏毛



冬毛

左右どちらも2010年に観察した家族の「お母さん」。鼻の左右脇に小さな黒模様があるので簡単に識別できた。また、人間に最も接近してくるのはいつもこの「お母さん」だった。夏毛は7月、冬毛は10月に撮影したもの(文京区)。



←これが間違った「丸耳」

「ネコ耳」と言えば誰もがその形状を思い起こせるほど広く知られているものです(特に萌え業界において)。その一方で「タヌキ耳」の方は間違った形状が広く流布しているという惨憺たる状況です。

タヌキ耳は丸みのある三角

「タヌキ=丸耳」というのは多くのイラストで見られる表現ですが、丸耳なのはクマかネズミです。根元部分が細くなっている丸耳のタヌキはありえません。タヌキの耳は「丸みを帯びた三角形」と私は説明するようにしています。それってネコ耳にも似ている、と思われるでしょうが、その通りなのです。ネコ耳の方が直線的、という程度の差でしかありません。

と、説明したにもかかわらず上の写真の「お母さん」はとっても丸い耳をしています。こういう丸い耳のタヌキもいることはいるのです。それでも根元が細くないことには注目してください。

写真を2枚並べたのは、夏毛と冬毛の印象の違いを説明するためです。夏毛の時は全身の毛が短くなるため、相対的に耳が大きく見えます。タヌキの一般的イメージとはかなり違って見えることでしょう。タヌキと言うよりイヌに近い印象さえあります。私は「イヌそのもの」とさえ表現することがありますが、タヌキはイヌ科、そして骨格もそっくりなので当然のことでもあるのです。

一方、冬毛の時は耳の辺りから後方の毛が長く伸びるため顔全体の面積が広がって見え、相対的に耳が小さく見えます。こちらの方が一般的なタヌキのイメージでしょう。

もうひとつの注意点として、耳の縁が黒いことも忘れてはなりません。見落としそうですが、これ、重要です。ちなみに耳の後ろ側の色は「黒」が正解です。が、耳たぶは非常に薄いため光線の具合によっては明るい色に見える場合もあります。

こういったことをちゃんと踏まえてタヌキイラストを描く人が現れるようになるとうれしいですね。

やっと登場？ 正しいタヌキ

イラストのタヌキはたいていどこかでミスをやらかしていて、私を満足させるものはほとんど出てきません。そんな中、「おおっ」と思わせるものがようやく登場しました。それはスマホゲームの「けものフレンズ」。いろんな動物が女の子キャラになっているゲームなのですが、タヌキがちゃんと特徴を踏まえたものになっているのです。「手足が黒い」もちゃんと再現していますよ。他の動物たちの描写もなかなか良くできているようです。ここでは画面を紹介できませんのでネット検索で確かめてみてください。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>